

3-4 狼川

視察日：平成30年10月9日(火)

県立長寿社会福祉センター、滋賀医科大学の丘陵地に分水嶺があり、水源となる山地はない。
源流は雨水の排水水路で、藪に覆われ殆ど見えない。
主な水源は流域の工場、各施設からの排水で、各工場及び施設で汲み上げている地下水や、また上水と思われる。

上流部（帝産バス転換場所、笠山七丁目）

藪に覆われ目視ができないため、車両からの視察のみ。

旧東海道と狼川の交点の上流部および弁天池

護岸が階段になっており、水面近くで観察可能であった。水は澄んでおり小魚を確認できた。また、狼川から取水している農業用ため池の弁天池も視察した。

天井川の痕跡 マンポ

旧国鉄のトンネルで狼川の下にトンネルを通して、ネジリトンネルになっていて、全国に26か所。その中で入口だけがねじれているのは2か所で、狼川トンネルはその一つ。

目川池

車窓から観察。現在水を抜いて護岸の工事をしている。

狼川・養老川合流地点（新浜町）

住宅側には堤防の決壊を防ぐため、鉄板が打ち込まれ、河床はコンクリートブロックが波打っている。今年、浚渫されたので生き物はいないようである。

狼川河口（イオンモール草津裏）

流れはほとんどなく停滞しているため、汚れが目立っていた。

